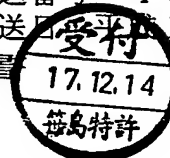


拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 4 0 1 4 7 4
起案日	平成 1 7 年 1 2 月 5 日
特許庁審査官	菊地 聖子 3 1 4 2 5 R 0 0
特許出願人代理人	笹島 富二雄 (外 1 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 1 項、第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 3 か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

A この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第 2 9 条第 1 項第 3 号に該当し、特許を受けることができない。また、この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

B この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

A について

・ 請求項： 1、 5、 6

引用文献等： 1

備考

引用文献 1 には、磁性層用の磁性粉末として Ni - Zn - Cu フェライト

粉末、非磁性層用の非磁性粉末としてSiO₂を用いる点、及び、磁性層が積層されてなる磁性体部1内で導電体が積層巻線2を形成し、非磁性層3が、磁路を分断するように形成される点が記載されている（段落【0010】、【0012】、【0022】参照）。

Bについて

・請求項：3、4

引用文献等：1、2

備考

引用文献2には、コイル導体24の上下に、磁路を形成する第2の外装体用セラミックグリーンシート44と樹脂製シート48とを設ける点が記載されている（第4頁左欄第26行～右欄第29行及び図4参照）。

そして、積層型インダクタとして、引用文献1に記載された発明に、引用文献2に記載された発明の、コイルを挟んで、磁性層と非磁性層を積層する点を適用して、本願の請求項3、4に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得たことである。

・請求項：2、7

引用文献等：1、3

備考

引用文献3には、絶縁基板5上のコイルパターン6と同じ厚みの第1の磁性コア9、第2の磁性コア3の側脚3aの代わりに、基板1Aに内蔵される第4の磁性コア13を、絶縁基材5上の表裏面におけるコイルパターン6の外周側に配置する点が記載されている（第3頁右欄第39行～第4頁右欄第47行及び図10参照）。また、コイルパターン6を、所定の範囲で、所定の厚みを有する基板上に印刷するか否かは、当業者が適宜設計すべき事項である。

そして、積層型インダクタとして、引用文献1に記載された発明に、引用文献3に記載された発明の、コイルパターンを設けた絶縁基板に、コイルパターンと同じ厚みの第1、4の磁性コアを接合する点を適用して、本願の請求項2、7に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得たことである。

・請求項：8、9

引用文献等：1、3、4

備考

例えば、引用文献4にみられるように、積層セラミックインダクタの製造方法には、導体ペーストと磁性体ペーストとを交互にスクリーン印刷する印

